伯剌西爾時報
發行所 伯剌西爾時報社
社長 黒石清作 Director Masahiro Sameshima
購讀料 新聞 一ヶ年 60$000 雜誌 一ヶ年 30$000
廣告料 新聞 1 Cent. 2$500 雜誌 1 Pagina 80$000

新東亞建設不動の國是

首相二十一日議會で宣明

日支國交調整に關する帝國不動の國策はさきに御前會議で決定を見てゐるので根本方針に何等の變りもないが其の後日々に變る東亞の狀勢と列國の態度に付き愼重考慮を拂つてゐた首相は今回確固たる成案を得て所信を議會で發表した

（寫眞は平沼首相）

【東京廿一日同盟】貴族院に於ける平沼首相演說

【東京廿一日同盟】貴族院に於ける平沼首相演說 事變勃發以來一年有半に亘り支那の各地に轉戰し幾多の勞苦艱難を克服し輝く連勝を收めたる皇軍出征將兵に對しては深い感謝を致すと共に異境の土に骨を埋められた英靈に對しては衷心より哀悼の意を表し其の遺志を成し遂げたいと存ずる次第である、畏くも天皇陛下には昨年十月三日軍人援護に關する優渥なる勅語を下し給ひ且つ巨額の御內帑金を下賜あらせられ皇恩の鴻大誠に恐懼感激に堪へぬ次第である、政府は聖旨を奉戴し恩賜財團軍事援護會を創立せしめ政府の施政と相俟つて軍事援護の事業の完璧を計り出征將兵をして後顧の憂なからしめんことを期してゐる次第である支那事變に對して曩に畏くも聖斷を仰ぎ奉り確乎不動の方針が定められ現內閣は元より此の根本方針に基きあく迄所期の目的達成に邁進致すべくもないことは自明の理である、畏くも明治天皇は舊來の陋習を破り天地の公道に基くべしと仰せられたが私はこれこそ我國の政治の基礎でなければならぬものであると信ずるものである、惟ふに天地の公道は即ち萬物をして其の所を得しむることに歸着するもので政治の要諦こゝにあると考へる次第である、此の精神の及ぶところは國內政治たると國際關係たるとを問はないのであつて東亞の新秩序建設も亦この根本精神を基礎としてその上に工作が進められねばならぬと信ずる

支那側に於きましても宜く此の帝國の精神を了解しいさゝかの疑義何等の誤解も持つことなく速かにこれに協力するのでなければ東亞の新秩序建設は成らぬのであつた若しあく迄これを理解することなく抗ロを繼續する者に對しては斷乎としてこれを潰滅、然し乍ら支那に於ける具眼の士にして宜く帝國の國策遂行に協力し更生新支那建設の礎石たらんと欲する者に對しては帝國は心良くこれを援けて解の上に立つて相提携して政治に經濟に將又文化に互助連環友好善鄰の實を擧げ此れを以つて東亞興隆の基となすことは我國肇國の精神を顯現する途であり、不動の國是であつてここに東亞永遠の平和は確立され又以つて相互ぎ更生建設に邁はんとする氣運が漸次支那全土に漲りつゝありますことは誠に東亞の安定の爲め喜ぶべきことで正義に立脚する帝國々是遂行の成果であると思ふ、今日の如く共產主義が支那大陸にび漫し遂にその政權をも支配せんとするものなるに對しては眞實の途を實行する上に何としても此れを排除せねばならない盟邦獨伊兩國が今次事變の當初より一貫して我國に全幅の支持を與へ來りましたることは深く感謝致すと共に帝國と防共協定により結ばる此等兩國との關係が日を追ふて緊密を加へつゝありますことは誠に御同慶に堪へない、又滿洲國の著しき發展は興亞のため誠にたのもしきことでありまして日滿不可分の諸方策は益々强化されるべきであると信ずる、然して他の第三國との關係に就きましても帝國はいたづらに此を形式的に或は文化的に排除する考へではなく彼等が帝國の眞意を理解し東亞の新秩序建設に協力することを望むものである、今次事變の終極の目的は單なる武力的勝利にあるものではなく支那の更生とこれに伴ふ日滿支三國の互助提携の上に新しき東亞の秩序態勢が確立されることにあるので此の目的が達成せられざる限り事變は終結せぬのである然して我々は祖先より受け繼ぎました傳統的な國民精神の敎養と國家總力の發揮とにより東亞新秩序建設の大事業の完成を計らねばならない、更に國家總力就中國防力の急速なる擴充即ち强力なる軍備及び日滿支を通ずる經濟力の充實發展を遠かに具現する事が我國當面の最も重要なる目標で擧國一致異常の決意を以つて生產力の擴充、貿易の振興、資金物資及び勞務の調整物價の規整等に就き何れも今後一層の研究と努力を重ね此れが實現を期するつもりである、又東亞の新情勢に即應し運輸交通通信の全般に亘り此れが擴充强化を計ることも緊急の要務なりと認め此れが施策を進めてゐる次第である

以上の見地に立ち今後は更に國家總動員法中所要の條項を逐次發動すると共に國內諸般の改善を計り以つて萬民補翼の精神に基き國家の總力を國策の嚮ふ處ろに集中發揮致すことは緊要で此の上とも朝野協力の成果に期待すべきもの極めて多きを感ずる次第であります

舊弊を脫し新東亞建設へ

前途の障碍は斷乎潰滅

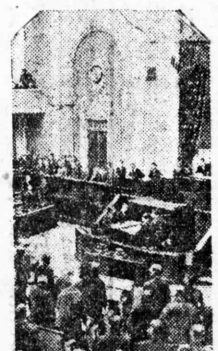
英米佛ソへ興亞政治の鐵則强調

世界の視聽集まる帝國議會の幕開く

二十一日先づ貴族院から

【東京廿一日同盟】貴族院は午前十時六分開會傍聽席は白衣の委の戰傷勇士の群が目を惹き外交官席には ガン 滿洲國大使の委が見える先づ首相外相別項の如き演說があつて更に板垣陸相、米內海相から戰況報告ありて後山川義夫氏登壇

今や時局は長期戰に立ち至らんとし我國の責任は又重大を加へ來つてゐると前提した後興亞院と現地との連絡問題を訊し更に更に占據地域に於ては治安の必要からも新政府が出きることが必要である、有力なる支那新政府が出きれば將介石が眞共に地方政權に當するであらう、それには我國の援助が第一要件で支那人をして眞に我方を信じ我によらしめ我と協力せしめねばならない、政府は支那民衆の人心收攬に勉し如何なる方略ありや又日支事變を總つて獨伊兩國が我に親善的態度を以て接したる事は感謝するところだが此れが反面英米が我行動の邪魔をなし殊に最近我に經濟的壓迫を加へこれによつて我を屈へることを信じてゐる此れは確かに一種の敵對的行爲である、滿洲事變、日支事變を通じての我國の態度を見れば日露戰爭、歐洲戰爭當時と實力に雲泥の相違あることに氣付くであらう、殊に我國獨特の精神力を知らば彼等の經濟壓迫の無益なるを自覺するであらう、私は英米兩國が速かに極東に於ける新事態を理解し我新精神を了解し我と協力する態度に出られんことを希望する、政府は英米をして眞に我意を了解せしめるために如何なる方策を採らんとしてゐるかと質問をなし國務大臣の答辯は廿三日の本會議に行ふことゝして午後零時廿六分散會した（寫眞は帝國議會開院式光景）



中心は武力工作

政經文諸工作を切要す

板垣陸相議會劈頭の演說

【東京二十一日同盟】板垣陸相は二十一日貴衆兩院に於て戰況報告を行つたがまづ冒頭において

事變勃發以來はやくも一年有はん此の間皇軍のせい鋭はあらゆる困苦にたへ陸に海に空にいたる處嚴古の大勝をはくし今やその戰況地域はわが全土の二倍をこえ抗日支那軍にあたへ損害は實にむ虛二百万を算し敵軍の匆急の再建は至難なりと目されるに至つたと斷じつゝ昨秋來の主要作戰たる徐州作戰カントン作戰武カン攻略戰の經過を說明し、最ごに武カン攻略ごの大勢につき次の如くのべた

武カン防衛に參加した敵軍は約百三十個師七十餘万で內中央軍は五十万であつたがけん有兵力は五十万內外中央軍は三十万內外と報じられ江北方面は溪水流域に對抗北南においては主力を長沙江やり南昌一帶に集けつゝ專らその再建と增强に努力してゐる、その他廣西カントン四川うん南北支をつうじ敵のげん有總兵力よりは二百數十個師約百万ぐらゐと報じられる、蔣政權が依然として抗戰を繼けるとするとゲリラ戰を敢行してわが後方擾亂を策することゝならう、一方敵軍の戰況地域における狀勢はわが軍の肅正工作に依り逐時小康を得つゝあるが、おもふに治安の確保は諸施設の根幹であり民衆の歸趨に一大影響あるので武りよく工作を中心としこれに即應する政治經濟文化諸工作を切要とし我東支兵りよくも當分これをげん地に留むべきは當然といはねばならない、今ごいよ／＼防共への方針を徹底强化し蔣政權に對しては直接壓迫を加へ補給遮斷を徹底せしむると共に他方我戰況地域の確保安定を期し不斷の無滅と周到の戰備とをおこたらず、敵の侵入にすん隙もあたへないことが肝要でこれが爲將來の軍備其他の施設に萬全を期する所以である

滿洲國遣日學生團入京

【東京廿一日同盟】滿洲國の日本派遣學生團員九十七名女子十三名の一行は留學生養成機關長廣田常次郎氏に引率されて廿日夜東京驛着入京した驛頭には平田留學生會理事長本田日滿帝國婦人會常務理事滿洲國大使館員留日男女學生多數が出迎へ男子學生は小石川の留學生會館に女子は西大久保の日滿帝國婦人會館の宿舍にそれ／＼落着いた

大失敗支那の聯盟提訴

對日通牒の認識を誤る

聯盟理事會の決議に消息通の批評

【倫敦廿日同盟】聯盟理事會の決議につき消息通は左の如く批評してゐる

一、支那代表の提訴に基き一般聯盟國の外特に利害關係の密接な吾聯盟國にも及ぼす建前としたのは支那側の要求たる調整委員會を換骨脫退したもので支那案の面目を樹て苦肉策であるがその實際的効果は疑問である

二、調整委員會の設置には特に小國側が犧牲の重荷を惧れ反對した、同時に英佛も委員會を設置すれば日本は益々獨伊兩國と提携して反對ブロック强化の藪蛇となることを惧れたものである

三、支那は英米佛三國の對日主張を述べたが大國側とは交渉は同通牒は日本と交涉の道を開かんとする目的にでは日本の經濟力が脆弱で各國の對將來態度が好意的なる如く吹聽し對日ボイコット輸出禁止對將財政援助等を狙つたが誰も耳を藉さず失敗した

日本の明日を擔ふ者

青少年の國家管理

【東京廿一日同盟】愈々今年度から實施される青年學校義務制の增均しとして又延いては青少年の國家管理と云ふ大理想の第一段として去秋十月一日市が行つた帝都の青年調査の結果はちら目されてゐたが廿日第一次統計報告が出き上り帝都男女青年の實習生の職業別比率など興味ある數じが判明した帝都に於ける一般青年層（十二歲から二十五歲迄）の概況は男九十万五百八十人女七十八万八千八百五十六人合計百八十八万九十四百三十六人で女の總數より尙十万以上も超加を示してゐる若い青年の實數は頼母しい明日を約束するものに外ならず又年齡別にて最も多いのが十七歲のもので數じは八万七千九百七十九人十二歲から十七歲迄の青少年を職業別に見れば約六十パーセントは工業青年次いで商業の二十八パーセントで帝都全職工は四十四万生產總額は實に十二億四千万円以上と推定され帝都は將に工業都市と云ふ樣である

時局の前途尙遠

全海軍終局目的へ邁進

米內海相帝國海軍の所信を議會で披瀝

【東京二十一日同盟】貴族院においてなせる米內海相の戰況說明要旨左の如し

昨年六月上旬揚子江遡江作戰に從事した海軍部隊は安慶、九江占領後八月下旬陸軍に協力武カン總攻擊を開始した、遡江部隊は頑强なる敵の抵抗を排除し、水路を警戒すると共に特別陸戰隊をもつて隨時江岸の敵據點を屠ること七日、遂に江岸の敵を掃蕩し、本作戰で處分した敵の機雷は實に二千四百個に達しこの掃蕩隊の數百りに亘る敵前揚陸と陸戰隊の壯烈なる敵陣上陸及び要地攻略は世界戰史にもその類例なく實に本作戰の戰史を永遠に飾るものと信ずる、一方南支方面に於ては十月十二日夜半月明のバイアス灣奇襲上陸に協力し更に廣東への水路を開きふ近のざん壕掃蕩に奮闘してゐる、作戰の全期間をつうじて航空部隊はゆう躍果敢空軍を殲滅し制空權を掌握し以來擊破せる敵機は千五百に達し又巡洋艦十九隻をあるひはく沈あるひは大破擱坐せしめ不滅の武勳をたてた、以上の外海軍は特別陸戰隊をもつて廈門、連雲港及び南澳島など支那沿岸の要衝を占領し艦艇に依る支那船舶の航行遮斷と相まつていよ／＼その封鎖を强化した今や作戰は豫期の成果を收め支那の中樞とうみに出づる門戶を完全に制し且制海制空の實權またくわが手に確保されてゐるが時局の前途はなほ遼遠にしてその上國際關係の動向も又一日の偸安をゆるさざるものがある、この秋に當り海軍は全軍一體相戒めて終局の目的達成にまい進し國防の重責を全うして上大元帥陸下の大御心に副ひ奉り又國民の期待にこたへんことを期してゐる次だいである

實說 忠臣藏

悟道軒圓玉 一彌 畫

（禁上演 映畫化）

第二百四十一席

死しての餞が見苦しく相成る、恥辱を考慮致すため、折角ながら美味に著を控らぬと申た、大石主殺の言葉を聞いた松平家の給仕人も道理あることゝ、この趣きを重役に告げる。重役から愚殿守に申上げると、さて／＼天晴な者である、十五や十六の少年の言葉とは思へぬと感嘆された事が古書に載つて居ります

さて公儀に於ては此の赤穗浪士を如何に處分すべきかと申す問題に就て種々の說があり、其頃徳川の儒者で三千石を領す林大學頭信篤の申すには

「是は忠義奬勵の爲ご助命然るべく存ずる」

と云ひ、柳澤美濃守より荻生徂徠（總右衞門）の意見を問ふと、

「大學頭殿の助命說も一應御尤もには存じますが、某の考へには之は死刑に行はれて然るべきかと存じまする何んとならば、苟くも徒黨を以て上樣のお城下を騷がしたは大罪人、それをお助命あつては天下の大法が立ちますまい、二つには假等をお助けあつては豈夫上杉家が其の儘には捨置ますまい、必ず假等を討ち捕てんとなすでムらう、然程成らば內匠頭御本家たる浅野安藝守殿が弓矢にかけても假等を守護致すに相違ムいません、然らば假等を助命いたせし爲、第一には天下の法を亂し、第二には浅野と上杉の不和を生じ、御治世のために大なる害を惹き起しまする、依つて之は死刑を賜はるこそ然るべきかと存じまする」

と答へた、柳澤は登城いたして此段を五代公へ上申する

「左樣か……」

と仰せられたが、なんとかして助けたい、併し法律を破る次第にはならぬ、又浅野上杉が爭ひをせぬやう何とか巧妙な考へはないものであらうか

「コリヤ何うしたら宜からうなア……」

と我が殿日近くなつたやうに腕を拱いてをられたが、不圖思ひ附かれたは、上野の宮樣にそれとなく願つて浪士共を助けやう、宮樣のお言葉とあれば假令天下の法を曲げるとも宮家に御迷惑申して彼れ此れ拒絕を致す者もあるまい又上杉としても浪士共へ危害を加へるやうな事はあるまいと考へられた

そこで綱吉公は上野一品親王の在する護雲院へ參られた宮樣と申上げれば、天子樣の金枝玉葉で在しまして實に廣大なる御威光のございましたもの

其頃の宮樣は勿體なくも開院宮樣の御子にて御幼年にして御東下あらせられ、上野にて專心佛學を御研究あらせられ、生佛と諸人に崇められたる公辨法親王でございます。

此のお方が京都より數百羽の鶯を取り寄せられて山の根岸の竹藪へ放されました、依て此の藪を初音の里と申します

さて、公辨法親王は將軍家が見えられたことをお耳にあそばすと早速お會になりました

綱吉公は四方やまのお話を申し上げたる後

「此の度赤穗浪士處分につき林大學頭の申すには、同後臣子たる者の忠義を重んずるやう、助命いたして宜しからんと其申いたしましたるが、如何なものでございませうか」

と、それとなくご同意のお言葉を賜はりたく思つた

五ケ年計畫

總經費三百萬コント
土木、國防準備特別案裁可
本年一月から實施に入る

ヴアルガス大統領はさる十九日法令一、〇五八號をもつて"土木及國防準備特別案"を裁可した、本案は昨年十一月新國家一周年記念をむかへる際ヴアルガス大統領が記者團にその思ふある事を發表、注目を惹いてゐたもので、例へば金ぞく工業其の他の鑛産物開發基本工業ひけうを興し土木事ひけうを盛んとし治安秩序の維持に必要な國防上の諸措置に利よりするもので五ケ年計畫で總費より一百万コントを要し、毎年その五分の一、即ち六十万コントをもつて本案實行にあたるものであるが、みぎ六十万コントの財源としては

酒煙草とり引稅二十五万コント、國庫の關係する銀行より引利益五万コント、對外金融出十万コント、國庫債券發行二十万コント

をもつて賠ふはずである、前記諸稅は大藏省でとりたて、伯銀の特別會計とし、會計院で大統領の規定にしたがひ、各省の配分額を支出するが本案實行にあたつて人件費十%以上を支出する事は出きない、本年は本年一月一日から實施されるもので本年第一回配分額は

石油審議會一万五千コント
陸軍省五万コント、海軍省三万コント、けう育衛生省三万コント、交つう土木省十万九千コント、農務省三万コント、司法内務省一万五千コント、大藏省三十二万五千コント

となつてゐる

世界棉花會議召集
米大統領賛意を表示
米伯間にはすでに諒解すみ

【ワシントン二十日U】ルーズベルト大統領は世界棉くわ會議召集案に賛意を表する旨發表したが果してルヽ大統領が本會議の實現のインシアチブをとるか否か疑もんである

【ワシントン二十日U】消そく通の報ずるところに依ると世界棉くわ會議召集について北米と伯國は既に諒解成立してゐるといはれる、該會議召集の話を最初にもち出したのはリマ米洲會議に出席した駐亞北米大使館づき商務官ニイハス氏で伯國代表に諮もんしたところ全幅の賛意を示したと云はれ、本日ルヽ大統領が支持する旨發表したことは本會議具體化に大きな力となるものである、つたへられるところに依ると、現在本會議召集につき非こう式にエジプト及び印度と交渉中であるが、前者は賛意を表したが、後者は反對の氣を示してゐるといはれる、ウオールス農務長官の意見に依ると、本會議の目標とするところは世界市場を各生産國別に分割し、需給關係を整調し、ダンピングを防止する

會中の世界小ねぎ會議の結果を見てから正式に棉くわ會議召集案が提出されるものと見られてゐる

ヒ總統ム首相の再會見說傳は
羅馬では可能性無い見込

【羅馬二十日U】最近ドイツ新聞がヒトラー總統とムソリニ首相間に再度の會見が行はれるであらうと報じたことは各方面のちり目を惹いてゐるが、みぎに對し、當市官邊では何等關知するものなしと發表、更に實現性見込薄と述べてゐる

獨逸、英吉利へ
潛水艦同噸數を要求
建艦競爭激化の兆

【倫敦廿日UP】ドイツはその巡洋艦建設を急ぐ一方英國に對し、潛水艦噸數の增等を要求して來たゝめ、再び烈しい建艦競爭を生ずるのではないかと憂慮されつゝある、ドイツは該通告に依り、既に遊水式を終つた三巡洋艦の外に更に一万噸級の二新巡洋艦を建造する一方潛水艦數を增加する意向と見られてゐる、きのふ進水した一万噸の巡洋艦セイディイッツ號は十八吋口徑砲を設置してゐるとの報道は一九三六年の倫敦海軍條約規定の十六吋までの制限を犯すものとして、英海軍を刺戟しつゝある、佛伊海軍も同型の巡洋艦を持つてゐるが、ドイツの新し態度から佛國はエスカレーター條項を發動、增艦につとめると見られる、英國には此の型の巡洋艦い英大なる造艦費を要する割合に技術的價値には疑問ありとて關心を持てゐない、更にドイツは自國軍艦が倫敦條約で許可された數に英三五%の噸數に達した場合、條約の制限を無視してさらに噸數を增加して行くことも疑問の余地なしと見られてゐる

【倫敦廿日UP】英國は現在建造中のものも加へて七万噸のせん水艦を持て居り、ドイツは三万噸と所有してゐるからその通告通り英國と同噸數をもつとすれば現在力の倍數をもつとなり、百六十萬のせん水艦を有つことになる筈である

貴族院本會議

休會あけ貴族院本會議は二十一日午前十時〇六分かい會、平ぬま首相、板垣、米内兩相、石渡藏相の演說あつた後、質問の第一ぢんをうけたまはつて研究會の山川端夫氏登壇

興亞院設置に伴ふ外務省の使命其他について質もんの第一矢を放つた、答辯は二十二日行はれることになつた

聲国田

聯★ソ★……★欺瞞★政策の標本

軍閥、大建築物の廊下は電光燦然、室氣清鮮且清潔なるには一驚した、獄室戸と外壁はペンキを以て塗畫されアスフワルトの床は黑色の漆で塗りつぶされて光を放ち、一片の塵芥もなく壁に接ふ床の兩側には狹い赤色の舗道が光り天井は新らしく光つてゐた獄舍は超滿員となり、そう惡るべき生活は地獄よりも甚だしとの憂慮での噂と、此の一點非難すべからざる衛生的な廊下と對照して私は一寸奇異の感に打たれた、憂慮の話は餘りにも誇張されてはゐまいか？との期待が一瞬瞬中に閃いた。だが一時間前に刑務所の内庭に於て一見した流刑行者の哀れな一群を回想するや、私の疑惑は忽ち氷解された のであるそして其後獄室内の實生活を對照して私にはこの清潔なる廊下は共產政權の

於ける拷問（四）
一囚人の實話報告
これでも地上の天國か

清潔

雄大

なる正面、妥當的ローズンガ及び儀飾的大成功とソヴエート内のあらゆる事實との最の明白なる表裏の象徴となつた、此の私はソヴエートを見學にきた外國人が、チエキストの案内で此の廊下に來り何か大に感心して質問を發し、新らしい手帳に記入しつゝあるのを見受けたが爾來私は外國人關係者の一手段にすぎない此の廊下を極度に憎むやうになつた、ソヴエートの表裏政策は大むね斯の如しだ、

欺瞞

ソヴエートの宣傳と欺瞞に惑はされる外國人こそ氣のどく千萬であるが、若し彼等が、知半解その誤つたソヴエートの欺瞞をふりまはして害どくを世に流すならば彼等も亦此の廊下と同樣唾棄すべき代物である

前代未聞の立部屋

獄卒は三階にある一室の前にたち大きな鍵をガチヤツカセさつと重い戸を開いて入れ！と命令した、だが私は入ることを得なかつた若し強ひて入り得るとしても私は突然動けなくなつた、本當に硬直狀態が四肢や筋肉を襲撃したつてゐる獄所に私を釘付けにしてしまつたのだ。九尺至十米四方の獄室は平常定員

三人

位で唯一の窓は板ばりだからの光や空氣は、不注意にはめられた窓枠の隙間から洩れ入る位で、室内は薄暗く印刷物を讀む事も困難だ呼吸、汗、永らく入浴しない躰及び汚穢な衣物から出る臭臭で充滿され重苦しく濁氣あり嘔吐を催さむる空氣がたつた今開けられた戸から廊下へ突進した獄囚の穴や熊の穴の窓氣は此の獄室の其と比較するならば遙に新鮮で滿潔である、何となれば獄囚等の樣々家にはこんなに多くの生ぶつが居らないからだ、蓋しゲー・ペー・ウーは後に述ぶるが如く一しゆ特別の目的を以て人を監禁にしたのだ。この獄室では人々は互に聯絡された、厚い壁は直ぐ戸の方面から築かれてあつた囚人は

熱氣

流が眼は眞赤になり病んだ苦悩の顔に肩からだらりと下り力なく頭を、れた憂勢、一言すれば半死半生の大病人が辛ふじてたつてゐるのだ、人間がやつと壁へ得る極度の疲勞困憊及び劇途全く光明なき絶望の繪畫は之を具見した天才でき名畫伯のみが描寫するを得るのみ、吾人の拙筆のよくする所に非ず實明な讀者の諒察を乞ふ、獄卒は入れ！と嚴酷に命令した、獄室では獄所がない！暫くも獄所がない我れの／＼間には針もたてられない！と騒ぎ始めた、誰かゞ叫んだ、オー神よ！いつこれがお仕舞になるのか？他の聲が聯きわたつた、新參者だ！妻子からだニュースがあるだらう、入れなければならぬ、後へさがれ！この返答として誰かゞ叫んだ、でも獄所がない我れの／＼間には針もたてられない！暫くして群集は何んとなく動搖が起り

人間

の壁が少しく後退したやうだつた、監視人は怒つて號例した入れ！そして私の背中をうんとおした、私はどうしても入れないじやないかと反抗した、監視人は這入れ！と再び叫びながら私の腰部に力を集めて足を床にふんばり手をあて、足を床にふんばりお一付けた、だが壁はびくともしなかつたので彼は

最後

の策として私を其儘にたゝせながら、廊下の方面から戸を無理やりに締めた、この彈壓のために私の肋骨は少々痛んだが半分間のち戸は堅く締められ鍵かガチヤンとおろされた、かくして私は無理往生に新住所へ入れられ不吉の豫感が實現されたのである、來ない者は屹度くる、來た者は歸ることを得ない！嗚呼万事休す？

土耳古ド群島を要求
地中海問題新展開
英佛の立場著しく好轉

【ロンドン廿日UP】來る木曜日まで討議を打ちきつた佛國議會は、政府の對外政策に西國人民政府救援のための國境開放問題に就て不信任案上程の險惡なる空氣におほはれてゐる時、トルコは若しムソリニ首相が植民地要求を貫徹して地中海の現狀を變更するならば、トルコはドデカネゾ群島の權利回復を要求することに決定、地中海問題は新局面開展期に入らんとしてゐる

トルコは國際紛爭の生じた場合、ギリシヤをも含むバルカン諸國を援助する事を發表、軍大綱されてゐる、ドデカネゾ群島はトルコ沿岸に接してゐるが、一九一二年イタリーが占領し、ロウザンヌ條約で間接的にその主權を承認されたものであるが軍事的に重大性を持つ、その故にトルコはムソ首相に依り地中海現在の均等が破れゝば、該群島の取戻しを要求するものであるトルコは從來から英國と好意を保つもち、その援助に乘出す準備をもつて居り、ムソ首相が四ケ國會議を開いて地中海問題を主張する場合該群島回復を要求する

注目される
グアム島武裝問題
實行となれば日本へ相談

【紐育廿日同盟】ウオルシュ、ピンソン上下兩海軍委員長が十九日の議會に提出した海軍防備強化法案は問題のグアム防備の擴大に關する大統領の意嚮につき左の如く說つた

大統領はグアム島防備に要する豫算を括要求する權限を得ることには賛成してゐるが愈々實際に軍事施設を建設することになれば即に一應日本に相談してから決定したい意嚮と解せられる

秘書アーリー氏はグアム島の防備問題に關する大統領の意嚮につき左の如く說つた

大統領はグアム島防備に要する豫算を括要求する權限を得ることには賛成してゐるが愈々實際に軍事施設を建設することになれば即に一應日本に相談してから決定したい意嚮と解せられる

西國革命
一ケ月内に勝利か
伊メ紙特派員の觀測

【羅馬廿日U】西國革命戰の最前線に出てゐるメサゼーロ紙特派員は

革命軍は此處一ケ月間に勝利を確保するだらうと左の如く觀じてゐる

廊は宿命的終末へと急速に近づきつゝある、それは決定した期日があるわけではない、現在の危機に於ける突發事は意外事の發發であると共に革命軍の勝利は確實である、そしてその日は近づく、前線では共和軍退敗の兆が見え、間もなくバルセローナ及びマドリッドの陥落を以て終末するであらう云々

注目される
グアム島武裝問題
實行となれば日本へ相談

【紐育廿日同盟】ウオルシュ、ピンソン上下兩海軍委員長が十九日の議會に提出した海軍防備強化法案は問題のグアム防備の擴大に關する大統領の意嚮につき左の如く說つた

大統領はグアム島防備に要する豫算を括要求する權限を得ることには賛成してゐるが愈々實際に軍事施設を建設することになれば即に一應日本に相談してから決定したい意嚮と解せられる

獨逸、英吉利へ
潛水艦同噸數を要求
建艦競爭激化の兆

【倫敦廿日UP】ドイツはその巡洋艦建設を急ぐ一方英國に對し、潛水艦噸數の增等を要求して來たゝめ、再び烈しい建艦競爭を生ずるのではないかと憂慮されつゝある、ドイツは該通告に依り、既に遊水式を終つた三巡洋艦の外に更に一万噸級の二新巡洋艦を建造する一方潛水艦數を增加する意向と見られてゐる、きのふ進水した一万噸の巡洋艦セイディイッツ號は十八吋口徑砲を設置してゐるとの報道は一九三六年の倫敦海軍條約規定の十六吋までの制限を犯すものとして、英海軍を刺戟しつゝある、佛伊海軍も同型の巡洋艦を持つてゐるが、ドイツの新し態度から佛國はエスカレーター條項を發動、增艦につとめると見られる、英國には此の型の巡洋艦い英大なる造艦費を要する割合に技術的價値には疑問ありとて關心を持てゐない、更にドイツは自國軍艦が倫敦條約で許可された數に英三五%の噸數に達した場合、條約の制限を無視してさらに噸數を增加して行くことも疑問の余地なしと見られてゐる

【倫敦廿日UP】英國は現在建造中のものも加へて七万噸のせん水艦を持て居り、ドイツは三万噸と所有してゐるからその通告通り英國と同噸數をもつとすれば現在力の倍數をもつとなり、百六十萬のせん水艦を有つことになる筈である

貴族院本會議

休會あけ貴族院本會議は二十一日午前十時〇六分かい會、平ぬま首相、板垣、米内兩相、石渡藏相の演說あつた後、質問の第一ぢんをうけたまはつて研究會の山川端夫氏登壇

興亞院設置に伴ふ外務省の使命其他について質もんの第一矢を放つた、答辯は二十二日行はれることになつた

聲国田

聯★ソ★……★欺瞞★政策の標本

軍閥、大建築物の廊下は電光燦然、室氣清鮮且清潔なるには一驚した、獄室戸と外壁はペンキを以て塗畫されアスフワルトの床は黑色の漆で塗りつぶされて光を放ち、一片の塵芥もなく壁に接ふ床の兩側には狹い赤色の舗道が光り天井は新らしく光つてゐた獄舍は超滿員となり、そう惡るべき生活は地獄よりも甚だし

於ける拷問（四）
一囚人の實話報告
これでも地上の天國か

清潔

雄大

欺瞞

人間

最後

前代未聞の立部屋

聯★ソ★……★欺瞞★政策の標本

於ける拷問（四）
一囚人の實話報告
これでも地上の天國か

清潔

雄大

欺瞞

人間

最後

前代未聞の立部屋

惡化して行く
西國革命政府の對英關係
商船捕獲が原因

【ロンドン廿日同】本日デイリイ・ヘラルド紙の外交記者は英國と西國フランコ政府との關係は愈々緊張して行くであらうとて大要左の如く報じてゐる

フランコ將軍は西國國民政府の交戰團體權承認を英國に强制するため、無理な政策を取つてスペイン以外の國へ向ふ英商船へ奇怪な行動をとつゝある、かくして最近六週間に英商船十五隻か軍艦の手中に落ち而も英國の抗議に全然耳をかそうともしない、フランコ將軍の態度は交戰權自體にも許可されてゐない越權的行動である

大衝動を惹起した
獨逸國立銀總裁の更迭
辭任理由全然不明

【伯林廿日ロイテル】獨逸のシヤハト博士が本日突如方面から國立銀行總裁を解任せられ後任としてフンク經濟相が、兼任したことについては當市方面にも著大なる衝動を與へ、シヤハト氏辭任の理由を極力探索されてゐるが、秘密は完全に保たれ香として不明である、本朝ヒトラー總統はシヤハト博士を引見、氏の第三ドイツに對する協力に深謝する所あり退出した博士にはこうした衝動を與へる事なかつた、ロイテル通信員が信ずべき筋から得た報道に依れば、シヤハト氏の辭任は本日の閣議で決定したものであると云はれるが、本閣議には博士自身も參加してゐる、博士の辭任は國立銀行の方針とドイツ財經方策との深刻なる異見の生じた爲であると云ふ噂が高いが本國は官邊からは沈黙を守つてゐる、ヒトラー總統が財經政策を單一化せんとしての決意であるともいはれてゐる證券市場はかゝる大異動に對し、豫期以上の抵抗力を示し、取引旺盛で堅實な寄止めを見せてゐる、ドイツの對外債務に對しても影響なき見込である

伊伯通商條約
折衝成功す

【ローマ廿日同】伯國大使館附商務官ルイス・スパラノ氏とイタリー遣伯局長との間の通商條約折衝は順調に進捗、協調裏に到達、これに依り兩國貿易は年三億リラの增加を期待されてゐる

獨宣傳相
ゲ氏微恙

【伯林廿日UP】宣傳相ケッベルス氏は過日來微恙にありヒトラー總統はオベノ・サルツベルグの自邸を提供し、養生方すゝめたので同相は二週間だけ同邸宅で療養し、月末歸市の筈である

國立銀行新、前總裁に
ヒ總統親書送附

【伯林廿日ロイテル】ドイツ國立銀行總裁更迭に際し、ヒトラー總統はフンク新總裁とシヤハト前總裁に親書を送つたが、フンク氏には本日から一、貨幣價格の安定マルク價値を無條件で保證する事二、資本市場を開放し個人資金を誘導する三、ダウエス條約に依る一九三七年二月十日法令の國立銀行會議を中央ドイツ銀行で行ふ

の三點を守られたしと通告、シヤハト氏に對しては博士のナチス建設に對する協力に深く〳〵感謝し、博士の名はドイツ再軍備第一期に輝かし何時までも永久にのこるであらうと述べてゐる

土耳古内閣
辭任す

「ペイルート二十日U」アダラー氏を首相とするトルコ内閣は辭表を提出し、新組閣運動は明日から開始される筈である

勅海灣航行庶斷

あつた

二十一日午前二時二十分支那方面艦隊司令長官は勅海灣航行遮斷につき次の如く發表した

二十一日より當分の間勅海灣船舶の航行遮斷を行ふ、但し第三國船舶に對しては遮斷を行はず

衆議院本會議

なつた

衆議院本會議は二十一日午ご一時四十分かい會、小山議長かい會の挨拶をのべ、一時五十分有田外相の演說並に米内、板垣兩相の戰況報告あつて後一時三十三分石渡藏相の財政演說が

復を要求すれば、英佛の立場は著しく好轉するもので、兩國また同國の要求支持につとめることは明瞭で、トルコ發じた一石に依り、地中海問題がとう展開するか各方面から注目されてゐる

ガ伊司令官
西班牙で負傷

【ローマ廿日H】スペインイタリー義勇軍司令官ガンバラ將軍は腿部に輕傷を負ふたが大したことなく、本日再び指揮についた

子供の園

オマチカネノ正月ゴウガデキマシタ、マンガ冒險ダン吉ヲハジメオモシロイヨミモノガ、一パイデス。

目次特別讀物
一、冒險ダンキチ
一、爆死の十五勇士
一、ビスマルクの少年時代
一、搖り籠唄
一、羊ノ皮ヲキタ　オホカミ
◎其他家庭欄外一〇四頁

ブラジルの育つた子供には日本の雜誌は環境の差違で、わかり切らない點が九〇パーセントあります。本誌は第二世兒童を實際に教育した經驗者が經驗を土台として特別に編輯したもので、本誌の一字一句はことごとく師子達の智識となり、人格となります。今や學校教育が全然不可能に立ち到つた現在、本誌の御購讀こそ唯一無二の對策ではありますまいか。本年度部一圓より最速御申込あれ……

北パラナはピリアニットへ!!!

昨年六ヶ月間の成績

賣却面積　一千四百アルケーレース余
市街地　二百五十余宅地
建物　四十余戸
水道設備所　完了
栗原測量所　建設中
燈施設は今年の豫定

昨年度購入者氏名

輪湖俊郎　荒谷守夫　清水光星　鈴木清一郎　白井千葉　今村太郎　小林三輪　橋本人矢　藤田昇一　濱田俊郎　藤川富士之助　豊島一郎　野口雄　松井五丙吉　橋本清人　小崎矢太郎　藤田秀雄　藤田定市　遠藤喜三郎

十二時半からスタン球場で既報の如く○・B軍對青年軍の野球試合が擧行されますが、今年に入つて始めての本格的な野球で、新たにパストから聖市に轉じ來つた佐藤サウスポーが、どんな投球振りを見せるか、なかなかけう味があります

◇

青年軍は佐藤君に安心してプレートを托し得ませうが○・B軍は誰を投手に立てるのでせう、佐藤君は仕事の都合で出られないし、山岸君に頼ばつて貰ふより他に手はなさそうですが病後一向に元氣のない山岸君にどこまで殘り立つ青年軍の打撃を喰止め得る力があるかこの勝負六分四分と見てゐる向きが多い樣です

◇

福中さんと鈴木榮枝女史が

聖市けふのメモ

タイアップして日本クラブで日本畫展覽會と生花會がひらかれてゐます、梧桐や櫻那帝の大家の筆になる掛け軸のすそに生花が植えられ雅やかな氣が溢れてゐます、奥さんをお連つれして行つてらつしやいまし

◇

邦人の競馬ファンが大分增えて來たようです、その人達にけふの勝馬豫想表を載せておきました

第一競馬（ムルビ、ベベロ、ソリモーエス）第二（ベンティラドール、メルクリオ、トウルビーナ）第三（ベリゴーザ、ジヤヲカ）第四（キラーテ、ビニヤールタングア）第五（アラリーバ、ビクトリオーゾ、タイプー）第六（ミダス、チアノック、オブス）第七（セン、ウンデルバール、アベージヤ）第八（カリオカ、カラフエア、アルフア）第九（オシルビオ、オディング、インディアノポリス）

◇

今週の映畫街はなか〳〵賑やかです、先づウーフア館の四（キラーテ、ビニヤールの—Capitolo—客足をひいてゐます、ウーフアの女王リリアン、ハルリーがパウロ・ケントを相手として熱演してゐます。失戀した人就職口のない人——とに角笑を忘れた人は行くがいゝきつと笑はせて呉るでせう（レヴユー映画）

アリヤンブラ館の—Lotus dir India—もなかなかの評判です、印度眼地の王國に取材した所謂『お家復興』映畫です、スケールも相當に大きい、着色戰爭映画

◇

メトロは—FRA DIAVOLO—皆さん御存知のオペレッタです

◇

封切りを見のがした方々にオリンピアでは MOCIDADE PAULISTA では—O CAMINHO DO AMOR—後者はジグリーの歌を聽きたい人のために御知らせしました

◇　◇　◇

百五十名の新兵中 伯國人はタッタ！卅二名

第一騎兵聯隊で發表

困つた兵隊

聖市、リオ市驚倒の"困つた兵隊"事件は朝野に多大の衝動を與へたが、また〳〵パラナ・サンタカタリーナ州出身の外國系伯國人五百がリオ市に移住し來り、これがまた全然國語を解さぬばかりか、今を時めくゼツリオ大統領の寫眞を見せてもポカーンとした顏付をしたと云ふので、上官も怒るより呆れて一まつたと云ふ"伯國の悲劇"が演ぜられた

内三十名はどうにかこうにか伯國語で會話をなし得るが、殘り四百七十名は日常の用語はもとより伯國々旗の識別もできなかつたと云ふに於ては上官も呆れてものが云へなかつたと云ふのも無理ない話である

騎兵聯隊の談表する處によると百五十名の新兵中、伯國卅二、佛國系一、獨逸七四、伊太利卅六と云數字を示め—即ち七七%が外國人で大部分は文盲者であると

職權を笠にきて 罪なき邦人を毆る

カフエーランジヤ暴行事件

去る十四日カフエランジヤ嬢より暴拾キロ離たつたアグアリンバ耕地に住む穡作者有中某氏のところへ副警長が五人の配下を引率してきて無斷で竹中氏及び其附近に住む邦人家屋に侵入して、奇怪な行どうをとつて家屋内を捜査して銃器を横領し、そして銃器隱匿にかこつけて毆打し、その上日本人學校經營につき難癖をつけ暴行のかぎりをつくしてひき上げたが、この行爲はいかにけいさつとは云へけいさつ權限外の非常識な行どうなりとし、斷然同耕地の日本人は起ち上り、代表者として同耕地監督加藤氏は早速カ市の辯護士下元健郎氏を訪ひ委細をのべたところ、元下氏もけいさつの非をならし早速同地方の日本人の證言調書を作成、聖市中央けいさつへ訴へ出ることになつたところが加藤氏が聖市けいさつへ訴へ出るときいか署長はスハ大事と、早速同人の出發を中止させ、車を末然にふせがんとし暴行を働いた副警長を減首し、なほ今ごとも斯る非常識な行どうをせないとの一札を入れて事件は平穏裡に解決した

電角ブラジル司法權の行使にうとい邦人に對し、權りよくを濫用するけいさつに反省を求めて見たちを集めてマンドリン、ギターを敎始めたのが「憧夢倶樂部」のはじまりで

諸＝届＝内＝譯

十二月 總領事館

出生　男六九　女五八　一二七件
死亡　男三〇　女一六　四六件
婚姻　四三件
婚姻養子縁組　一件
養子婚姻　一件
養子離縁　一件
合計　二一〇件

サンアリア

聖市にデヴユーする 音樂グループ 憧夢倶樂部

松村先生に率ゐられ

南聖キロンボ植民地小學校の兒童たちによつて組織されてゐる音樂グループ「憧夢倶樂部」が經々聖市に於て公演しようと云ふ快よいニュースは、俊明先生が"山の中の生活にも潤びを"と云ふ氣持から敎へ見たちを集めてマンドリン、ギターを敎始めたのが、世人から多大の關心を捕はれてゐたブラ拓管下アリアンサ移住地四產業組合の大同團結が實現をみるに至つた

實現までには幾多の紆余曲折があつたが仲介役として聖市より起いた動げん部青木林藏、日伯產組中央會理事下元健吉兩氏の努力と植民者一同の自覺によつてこの難關を新形態に整へ突破したもので、その間途には多大の期待が懸けられてゐる

幾多の曲折を經て 四產組の合同成る

仲介役青木、下元兩氏歸る

尙青木下元兩氏は一昨夜聖市に歸着した

奥地邦人は 病氣で死ぬ？ 最も多い肺病

なんど

つてゝながら徒事ではあるまい最近の四十六名の病死者の内一番多いのは肺病で、次が赤痢と腎臟病である特にちう意すべき問題は醫者の立合ない死亡者が三名に、毒蛇に咬まれて死んだのが二名食物中毒が二名等である

腸結核八、腎臟病五、赤痢五、敗血症二、胃癌二、衰弱症二、蛇咬傷二、中どく（食もの）二、（以下各一人）結腸炎、腦充血、腦・動脈硬化症、痙攣症、腎盂炎、腦膜炎、症出血、チブス症、自然死、自殺、他殺、病名不明三

醫師立合なし三

最近氣候の關係か邦人死亡者が多いがその死亡原因の病名を知るのも兎角醫療機關の不完全な奥地邦人にとつて重大問題である

二月のプログラム 母國ラヂオの夕

毎夕六時半から……

一日　合唱
二日　ピアノ獨唱、舞踊小唄
三日　講演（亀）管絃樂
四日　時局講演（日本語）獨唱、俚謡
五日　管絃樂、日本放送交響樂團
六日　講演第二世敎育について、山本忠興、チエロ獨奏、國民歌謡
七日　講演（西）獨唱、長唄
八日　新日本音楽—れい明會指揮町田章（日本の文化）シーリズ（東洋の智惠と西洋の智惠）長谷川如是閑
九日　小學生に依る日本語朗讀（初學者）小石川林町小學校兒童、指揮山
十日　本誌男、小唄
十一日講演（日本語）日本の

社告

酉卒程度の三十才までの事務員一名入用

伯刺西爾時報社

社告

小麥種子無料配布と本社の受たる一手取次恩典

昨年は本社商事部が聯邦政府農務省からの指定に依つて

小麥種子三百餘俵

を我が在伯同胞諸氏に無料配布の手數を爲せし事御承知の通りでありますが其の成績は如何であつたでせうか、何分にも配給側の政府も試作側の皆さん方も試驗的のことでありましたから理想的にはいかなかつたと思ひますが、それでも發芽確實にして相當な收穫の有つたことは御實驗なさつたと思ひます本年は農務省も更に一層の研究を積んで

聖州の地味氣候に

適するブサ四號種子を特に精選すると共に法令第九五五號（十二月十七日の官報發表）を以て内國小麥栽培奬勵の爲めに小麥製粉會社をして生產者送出し驛一キロに對し最低額六百レースの强制買入れを規定したのでありますから此の規定通り向ふ三ケ年間は生產者賣捌保證付きの栽培が出來るのでありますそして本年も亦聯邦政府農務省は特に

本社を指定取次ぎ

として優良小麥種子を無料配布せしむることに致しましたから御希望の御方々は弊商事部宛續々御申込願ひます

追て委細は御請求次第明細手續書を御送附いたします

伯刺西爾時報社
時報商事部
Caixa Postal H
São Paulo

アオ・プレツソ・フイキソ
創業五拾年
記念大奉仕
目下
弊店の大量な商品全部にわたり
正札より
一割引
弊店創立50年目
1889　1939
AO PREÇO FIXO
ジレイタ街144　アロウシエ街211

養豚で儲ける秘訣

養豚をするなら第一要件として良い種類の豚を養ふことなり良い種類の豚とは喰ふ飼料が少なくして少しの期間に肥大するものなり、素人は良い種類の豚と言へば直ぐ歐米改良種を想ふ此は非常に違つた事で氣候、風土飼養の異なる地で出來た豚は決して當國に飼ふて儲け得るものでない、當ブラジルには幾百年前から支那南部及歐洲から入つた豚を各地で交配し改良され一定の體型を持つ內國種が存在する、主なるものはカナストン、ジュンケーラ、タッツー、ニロカストラ、ジュンケーラ、タッージンニョ、ベラード、カルンショ等がある、此等の中でカルンショ（Carunchо）種は最も肥大した物で五六アローバの體型のものなり其れが足短かく少しの飼料で肥育期僅かに二、三ケ月でキント樽の樣に圓るく肥大する、所謂農家に最も重寶される豚である、其の體型は口端短く、四足も亦短く金白色に諸所に黑斑があり、美しく他の種類の樣に大放牧場マングロンの必要なし

牝牡　牡又は牝　一組五—六ケ月もの　四五〇鈆
三ケ月もの　一四　二五〇鈆
牝牡一組　二五〇鈆
牡又は牝　一五〇鈆
荷作送料二〇鈆加算の事

時報商事部

戰績

優勝力士は

◇

大相撲十日目は依然として觀客すし詰の盛況、今場所最優勝候補と見做された無敵双葉も健康勝れず既に四敗を喫し遂圍外に去つたに反し多年不振の底に沈呻してゐた巨軀男女の川は玉の海に不覺、敗を喫した以外は堂々危なげのない相撲をとつて華々いカム、パックぶりを見せてゐる

◇

驚嘆すべきは出羽湊の元氣でけふ（拾日目）も强敵羽黑と顔が合ひ接戰の末押倒して勝名乘を擧げ拾日目まで土つかず、優勝へ邁進する出羽湊たり矣

◇

今場所の人氣は玉の海に注がれてゐる、師匠玉錦亡き後の二ケ所關部屋を背負つて連日血みどろの奮鬪をつづける玉の健氣な姿、彼が土俵にあがると觀衆の聲援はすさまじい

大相撲寫場所

常勝双葉 外に去り 男女か、出羽湊か？ 玉の海名寄岩の力戰

十日

ものがある、彼の對手になつた力士こそ災難！

◇

死ぬまで相撲をとるとガン張つて土俵々努めてゐる老雄鏡岩も寄る年波には勝てぬらしい、既に星も負越してゐる上に此からの對手は大物ばかりこの邊引退が潮どきかと最眞剣に氣に病んでゐるとか「土俵を死場所—と心得てゐる鏡、近來の名力士だつた

中入後の勝負

東

○青葉山（寄倒し）出羽花
○鶴ケ崎（機投げ）大和
○肥州山（引出し）桂川
綾鶴（上手投げ）轟瀨川
藤の里（渡り込み）金湊

島登（下手投）綾若
海光山（押一出し）一渡
神武山（喰込み）福甲
◇大邱山（寄り切り）土州山
巴潟（押倒し）五ツ島
▲大和錦（寄り倒し）富士ケ嶽
▲大鵬（寄り倒し）龍王山
○鏡の里（寄倒し）兩國
○駒の里（掘り出し）大浪
○安藝海（寄倒し）小島川
旭川（下手投げ）和歌島
▲盤石（寄切り）鹿島洋
出羽湊（押し倒し）羽黑山
▲玉の海（同　）名寄岩

戰績

△鯱の里—兩國　立ち上るや左相四つ鯱ひだりからの機投を試みるや兩國危く堪互に仕掛の應酬二合三合、兩國右足の外掛を試みたが決ら

△駒の里—大浪　兩力士の初顔合せは昨年の一月場所此の時は駒の勝、二回目は五月場所で大浪の勝、互に一勝一敗けふは決勝戰である、立ち上るや鯱の鯱命に突っぱり、大浪よく防ぎ褌を摑み、駒石より諸差し寄り切らんと押しで出るや大浪打つちやりの体勢、駒の體勢くゝに乘じ浴せ倒して鯱の勝、

△旭川—和歌島　時間一杯に立上るや左四つ、和歌下手廻しを引き腰を下ろして押して出る旭川の施す術なく下手投決つて和歌の勝

△盤石—鹿島洋　立ち上るや突っぱり二三合鹿島下手廻しを充分引押して出る、盤樽立ちとなり土俵際九寸の所で鯱命に廻り逃げんとしたが鹿島頭徹尾追撃をおひ込み寄りきる

△出羽湊—羽黑山　出羽九日まで勝ちぱなし五戸八すん五分廿五貫、振り、機投げ屈すか、が得意、此に對する羽黑七勝二敗の勝ちこ一五戸九すん廿貫上手投げが得意共に初かは合せ、立上るや羽黑左を差し右前褌を引き押し利の体勢となるや正面土俵に

り倒す

△駒の里—大浪　兩力士の初顔合せは昨年の一月場所此の時は駒の勝、二回目は五月場所で大浪の勝、互に一勝一敗けふは決勝戰である、立ち上るや鯱の鯱命に突っぱり、大浪よく防ぎ褌を摑み、駒石より諸差し寄り切らんと押しで出るや大浪打つちやりの体勢、駒の體勢くゝに乘じ浴せ倒して鯱の勝、

△安藝海—小島川　小島の突っぱりに對し安藝機投が得意、兩力士慾人り時間一ばいの仕切り、立ち上るや安藝機先を制し右四つに組み腰の腰を下して鯱の勝、

△旭川—和歌島　時間一杯に立上るや左四つ、和歌下手廻しを引き腰を下ろして押して出る旭川施す術なく下手投決つて和歌の勝

△盤石—鹿島洋　立ち上るや突っぱり二三合鹿島下手廻しを充分引押して出る、盤樽立ちとなり土俵際九寸の所で鯱命に廻り逃げんとしたが鹿島頭徹尾追撃をおひ込み寄りきる

△出羽湊—羽黑山　出羽九日まで勝ちぱなし五戸八すん五分廿五貫、振り、機投げ屈すか、が得意、此に對する羽黑七勝二敗の勝ちこ一五戸九すん廿貫上手投げが得意共に初かは合せ、立上るや羽黑左を差し右前褌を引き押し利の体勢となるや正面土俵に

しを引き鯱命による、互ひに押し合ふこと一呼吸また一呼吸力のこもつた四つ相撲、羽黑强引なひだりの上手投げを試みたが決らず腰が崩れるやうにして體を押しつけて倒し、出羽拾日間土つかず唯一人の優勝候補かくしてこの一戰にかけられた東日大朝寄附の優勝銀盃は出羽の眞上に燦

◇

死ぬまで相撲をとるとガン張つて土俵々努めてゐる老雄鏡岩も寄る年波には勝てぬらしい、既に星も負越してゐる上に此からの對手は大物ばかりこの邊引退が潮どきかと最眞剣に氣に病んでゐるとか「土俵を死場所—と心得てゐる鏡、近來の名力士だつた

中入後の勝負

東

○青葉山（寄倒し）出羽花
○鶴ケ崎（機投げ）大和
○肥州山（引出し）桂川
綾鶴（上手投げ）轟瀨川
藤の里（渡り込み）金湊

島登（下手投）綾若
海光山（押一出し）一渡
神武山（喰込み）福甲
◇大邱山（寄り切り）土州山
巴潟（押倒し）五ツ島
▲大和錦（寄り倒し）富士ケ嶽
▲大鵬（寄り倒し）龍王山
○鏡の里（寄倒し）兩國
○駒の里（掘り出し）大浪
○安藝海（寄倒し）小島川
旭川（下手投げ）和歌島
▲盤石（寄切り）鹿島洋
出羽湊（押し倒し）羽黑山
▲玉の海（同　）名寄岩

戰績

△鯱の里—兩國　立ち上るや左相四つ鯱ひだりからの機投を試みるや兩國危く堪互に仕掛の應酬二合三合、兩國右足の外掛を試みたが決ら

△駒の里—大浪　兩力士の初顔合せは昨年の一月場所此の時は駒の勝、二回目は五月場所で大浪の勝、互に一勝一敗けふは決勝戰である、立ち上るや鯱の鯱命に突っぱり、大浪よく防ぎ褌を摑み、駒石より諸差し寄り切らんと押しで出るや大浪打つちやりの体勢、駒の體勢くゝに乘じ浴せ倒して鯱の勝、

△旭川—和歌島　時間一杯に立上るや左四つ、和歌下手廻しを引き腰を下ろして押して出る旭川施す術なく下手投決つて和歌の勝

△盤石—鹿島洋　立ち上るや突っぱり二三合鹿島下手廻しを充分引押して出る、盤樽立ちとなり土俵際九寸の所で鯱命に廻り逃げんとしたが鹿島頭徹尾追撃をおひ込み寄りきる

△出羽湊—羽黑山　出羽九日まで勝ちぱなし五戸八すん五分廿五貫、振り、機投げ屈すか、が得意、此に對する羽黑七勝二敗の勝ちこ一五戸九すん廿貫上手投げが得意共に初かは合せ、立上るや羽黑左を差し右前褌を引き押し利の体勢となるや正面土俵に

雜記帳

◇桑島新大使出迎への爲リオに出府中の富藤支店長は一昨日歸聖した

◇

伯人柔道家が日本人に一戰を挑んできました、このかう慢チキな伯人ジョルヂ・グラッシに應へて小野直一（二段）くんが柔道ニッポンの名譽の爲に蹶起しました

兩者對戰の期日は未ていだが近日中に行はれる樣です

◇

チエテの視察は空から……

◇

ヒットラ御大の異母妹ブリーデ・ヒットラさんは僅九シリング稅金滯納で、ビカッテの裁判所で六週間の內に支拂ふべく命令を受けた、今を時くヒットラの妹が僅な金でとやつぱりの評判

◇

聖市イルマン・シンプリシアナ街の四番に大久保齒科醫院が出來た兄弟二人でまめ〳〵しくお客樣のサービスすると

◇

ルーマニヤのブカレスト市の出來事

小供がイタヅラに猫に石油をかけてマッチで火をつけた處若うしまきれに猫は怒から飛び出して新のつんである小屋に飛びこみそれが原因で出火し、損害百万レイとはイタヅラも手加減しなくてはならぬ

◇

サントス商事會では機關誌銀寶第二號を昨日發行した

◇

昨今急に歸國者が增へたが、それにつけ日本金を一時なりともあつかる處は海興銀行部だけ「一寸一萬円」「私は二萬円」押すなゝの盛況

ミシンは……

國產インペリアール

モデアナ線ミゲロポリス町のラジアード植民地青年會では本紙をつうじて軍恩慰基金として二百九十三ミル餘のうした

リオでは毎日十噸づゝの貨車が出來た見物二人でまめ〳〵しくお客樣のサービスすると

昨日コンセレーロ・フルード街の某洋服店前で、マルミツタをヒックリ返した一小僧邊りに人のゐないを幸ひ泥の

ついたフエジョや煮魚を又元の箱へ入れて素知らぬ顏で歩き出した、喰つた人はさぞかし……

◇

勸業部の青木技手一昨日アリアンサから歸聖、「ブヤ君奥地の暮しは話にならないよ、やつぱり聖市は涼いね」を連發

◇

建國—伯爵二荒芳德
內放送錄音再生
十三日日本童謠集—東京市內小學校兒童獨奏
十四日民八合唱—中尾都山社中、流行歌
十五日時局スケッチ日本語
滿洲移民と曲管絃樂
十六日講演（日本語）二月の母國便り—三島通陽、軍歌、歸朝日本の歌
十七日室內樂—フイルハーモニイ、クワルテット、芝居囃子
十八日ピアノ獨奏—コンクール入賞者、合唱
十九日歌謠曲、松原操

養豚で儲ける秘訣

文藝

泥池（二）

杉武夫

「兎なんかどうでもいゝから早く堀れ、遊んでばかりをつて」

二人は又堀り始めるどちもちもだまつたまゝだ。

エンジャードンに土がねばりつくので、あまり深く打ち込むとぬけなくなる、其を知つてゐて三郎は力一杯エンシャードンを打ち込んでぬけずにうん〳〵やつてゐる。道夫はわざと知らん振りをしてゐるが、泣き出しそうな三郎の顔を見てゐると可哀さうになつて來た。

「馬鹿、そんな力一杯したつて抜けないのはあたり前ぢやないか」

「だつて」

「どれ貸して見れ」

道夫が力一杯引張つても抜けない。それこそビクともしない。やつと引抜いた。

「ホラ」

道夫がかう言つて振向いた時、三郎はずつと上の道を走つて行く友達の姿に氣をとられてしまつてゐた。

道夫はぐつと癪にさはつた。

「三郎」

すると云ふ道夫の言葉に弟の三郎はギクリと振り向くと、何か言はふと思つたのだらうが口を動かした丈でだまつてしまつた。今にも泣き出しさうだ。

「もう今日はやめる」

しばらくしてから道夫はそう言ふと弟には目もくれず鍬をかついで歸つた。

池はまだ形も出來ず、堀返した所に油の浮いた水がギラ〳〵光つてゐる丈だつた。

「野球に行つて來る」

武はそう言つて學校へ行つてしまつたし、三郎も何處かへ遊びに行つたのだらう、家の中はひつそりとしてゐた。道夫はしばらく古雑誌を引張り出して見てゐたが、すぐ飽きてしまつたので又外へ出た。

「又行つて堀らうかな」

こうも思つて見るのだが、直に一方では又一人で仕事したのちやつまらない事と言ふ考へが浮んで來るのだつた。と

父小さい三郎を日曜にまで遊ばせずにこき使ふのはあまり可愛そうな氣にもなるのだつた。兄の武は全然相手にしてくれなかつたし、そうだボタ〳〵やらう、そう決心して又池を堀りに出かけた。

運動會が近い中にあるので三郎は日曜でも練習に學校へ行かねばならなかつた。武も青年團の音樂部へ入つたので練習に何時も出かけた。音樂部といつてもハーモニカ丈だつたが、運動會に音樂のないのは淋しいので、ハーモニカのバンドを作つて遊戯の時に伴奏するためだつた。

それで日曜は何時も道夫一人で池を堀るのに一生懸命だつたが、一人ぼつちではすぐ飽きてしまひ仲々思ふやうに進まなかつた。

その中に運動會がやつて來た。

十月二十日の開校記念日だつた。

朝早く花火が上るともうぢつとしてゐられずに子供達は急いで學校へ駆けつけた。道夫も三郎や武と一しよに出かけた。

運動場の眞中に椰子の木が一本立つてゐあり、それにはブラジルの國旗と日の丸の旗が風にはためいてゐた。四方に張られた紐には万國旗代りの色紙が張られてゐた。石灰の白いコース、パンノを張つた見物席嗚れ〳〵として何も彼もが運動會らしい雰圍氣に滿ちてゐた。

「これ持つてゝ」

三郎は上衣をぬぐと道夫に押しつけるやうにして學校友達の方へ走つて行つた。白い帽子白のシャツに紺のパンツ女子も上は白、下は紺の服が、目のさめるやうな華やかに道夫には思はれた誇もが樂しそうに走り廻つてゐた。

「先生僕かやります」

道夫の座つてゐる見物席の前まできた時三郎はそう言つて先生の持つてゐた紙を持つて走り出した。道夫はビクッとした。そして何故ともなしに顔を赤らめた。

「三郎、そこでよし、そこで持とれ」

先生はそう云つて振り返つてついてきた女生徒の大きなのに向つて云つた。

○ 悲路多佐好（評）表現法未熟なり

○ 山田 耕人

やうやくに小降りとなりて山峡の森にしら〳〵霧たちのぼる

雨はやゝ小降りとなりてたそがるゝ畑に餌あさるくたかけの見ゆ

（評）概念的な理窟つぽい歌が多い、歌は理窟ではない

○ にのみや

秋づくや枝にたわわの桃うれてあしたは露に色のすがしも

桃の種で笛つくりたる少年のふるさとを思ふ父母を思ふ

（評）雅なさはあるが、素直な點が好ゝ

○ 夢城

實植して七年過ぎぬ農木戸の遮蔽のはな初めて咲きぬ

遮蔽の黄色きはなは葉の裏に小さく咲きて目にたゝぬなり

とー明けてなほ雨續く珈琲の實はもぼつ〳〵うれ初めにけり

○ 金鐘兒

ふるさとのはるの雪解を思ふなり兩垂の軒に日のあたるなり

ふるさとの夢を見ることしげくなりて此の頃わが身病りし思ふ

やりどなきわがさびしさは若くして酒にしたしむ人となりたり

一夜さの夢風雨は凪ぎてあさあけぬ背戸の木立にロウラ鳴くなり

（評）好調、洗削した點注意あれ

庭園の花を見て

葛西 妙子

用事濟みて自動車待つ間の暇あればいとねもごろにはなを眺むる

樂も薄紅もありしろもありおのもおのもに咲きこぼれたり

夕畑

瀬戸 濤聲

夕畑をめぐり來りてゆくりなく鶯の聲に似し鳥を聞けり

鶯の似聲の鳥のゐて來を啼く畔木の椿のほの夕明り

さかりきて聞けばまことに鶯の聲さながらの夕小鳥の聲

鶯の聲をさながらに夕畑の畔木の椿に啼くは何鳥

聞くからに心親しき鶯の似聲の鳥は又しても啼く

鶯の似聲したしき夕小鳥啼きつゞからにわれも聞きをり

（評）第一首五／「似し鳥を聞く」の言ひ方は如何？夕小鳥の用語もやゝ奇異に思はれる

百鶯の色彩りかに匂ふはなは美女殿艶の宴にゝ似る

惠まれしよき環境に育ち行くこの苑のはなをうらやみて見つ

遠く〳〵移り住む身のふと思ふ日比谷公園のはな園の徑

輪日傘をくる〳〵廻して友と行し昔のなつは樂しかりけり

念腹選

當季雑詠

吉川 壽樓

青空を一踏んで運河の監視兵船首また

朝曇りしぬ太平洋油虫 つゞき歩ける

大陸にそふて航くなり 月棚

小柳 武義

薫風や蟻々軒を劍ねあがり

日屋の結婚指輪 風薫る

椰子のしんまげて花房出でにけり

花のしんかつぎて蟻の行列歩み

宮地 一甫

行台へる舟の西瓜を買ひにけり

揚舟に波の來てゐる夏の月

蛍狩釣りの用意もして行かん

鈴木 抱春

牛車御して跣足のニダロかな

繋ぎあるカノアを越して草矢かな

石川 芳園

蔦若葉あげて蘆茵 さし覗く

アカシヤの花を庇に果物屋

中野 陽水

ビル裏に古りし長屋や鳳仙花

花ジョワや道をはなれて輪あと

齋藤みよ子

向日葵や 庭の家も蔬菜畑

牛の群 極暑の街を通りけり

前田やしま

大西瓜かゝへてのりし櫂馬

西瓜抱き馬驅けらして來たりけり

佐藤 潔子

汗の人ねぎらふ釣る瓶下しけり

蕭台ある毎に人待ち夕づける

山室 默震

大雷に打ちひしがれし豆畑け

林 銀河

花合歓の下に 朝市初まれり

岡田 仙友

鶏卵とる蜥蜴漸く見つけたり

目黒はるえ

室銃を射つて夜濃はじめけり

雨雲の流るゝ垣や夕顔咲く

岩上 五重

光りつゝ虹に伸びたる豆の蔓

堀田 拓山

孟めける蔓子の兄や 天瓜粉

木本 子雷

大粒にきてすぐ止みぬ椰子の雨

佐藤 いさを

ラヂオ今 大演説ぞ 火取虫

鶏鳴き驛書を借りて讀みにけり

増田 恆河

蔬象のついたる米を借りにけり

吉川 耕花

粟田 眞一

雨ありて蛙の聲の殖えにけり

伊勢 砂丸

蔓野路や、牛車をよけて山羊

増田 恆河

汗 夏季雑詠 同

以上締切二月十日

十句限

詩

病床にて

良一郎

白雲よ

あてどなき旅か

獨り身の

氣易さに

漂ふてはみれど

白雲よ

雨と降るのか

臥する身の

もの想ふさに

笑ふてはみれど

坊やと寝て

與世山彦志

寒い晩を

坊やと寝ると

坊やと寝た祖母ちやんを思ひ出す

三年四年經つて

君が十三、十四になつて

祖母ちやんに逢つて

祖母ちやんの頬つぺたを

君の頬つぺたにくつつけたき

祖母ちやんも一ぺんに若がへるだらう

坊やの是の頬つぺたは

とてもやはらかいものだ

森 星童

我のまつ蛍火遠くなるばかり

森 虹洋

郷かむりしたる童や草いきれ

小堀 歌川

洗ひ髪、打ふれば鳴る耳飾り

富岡 靜司

自動車の汽鑵、野清水そゝぎけり

森 冬葉

鳥二つ鳴き連れ出たり雷雨晴れ

荒堀 徹夫

日を追ひしまゝ向日葵の月にあり

白石 秋峯

牧場の馬に飲ちし 草矢かな

念腹

乳しぼる牛 不機嫌や 朝曇

かたくなに人形貧へり汗疹の子

夕嫁けて面映ゆがれる野仙人掌

人生

冷石

金が人間を支配した。

義理も人情も

あるものか

金

金

金だ

人の世は……。

午睡

森野 勇

魂の疲れを 午睡が

みんな〳〵持去つてしまつ

ほんの二時間ではあつたが

私は見ず聞かず

思はず

喋らず

意地悪い

眼

眼

眼

を逃がれて

身！

心！

伸び伸びと……

時代の失業者

澁川 木二夫

我等は時代の失業者

君と我 互に拳を握りて

卓を叩く

我等が願ひ容れられず

敎へ兒と別れて二月

痛憤遣る方なく

今日も拳を振る

我等が不常の努力も

空しくなり果てゝ

金にのみ生き行く

頑迷なる村人は

遂に民族の誇り失へり

我等は時代の失業者

別れし敎へ兒への愚戯を

胸に燃やしつゝ

今日も亦 君と我 互に卓を叩く

「詩短評」

伊勢伊賀太郎

二篇にわたつての詩を全部紙上にのせるには巾が要るから自分勝つ手にまとめさしてもらひます

幕懐、ペン先、夕

二人三標

ではあるが共に少女のもつてあらう、センチメンタリズムにその詩を浸くしてゐることには變はりはない、もう少し人生の深處をきり入つて小手先の器用さを慾い注意だが生かすことだ、魂が不足、

容れたローソク、一人旅

後者には律を運ぶ苦心のよさはあるが共に作りなれた人らしい感じがするが、余り現實的なもの、方がまーだ沸然としたその人の感激に溺はそれ程に讀む我々には響かない、もつと一點をみつめてその一點になることだ、池の神秘、人間 自分の裡に出來てゐない人間を無理強ひに書こうとすると 兎角浸くなると同時に迫力がない、

惡の華神の華

の姫やゝ

だが、二度目ではあるが墨朝にあつた「都會と田園」の方が詩として價値がありさうだ

雲

はどうかと思ふ、その想ひが幼い、それだけ誠らしさはあるが僕は虫の乞食がすきだ ボアノイテの花は觀者はどの巧みさはないが、この人のもつ想像驅想の世界の廣さにしをつくる者の容易さがある、何れにしても段々と進歩してゆくこのし壇のはなやかさに苦くまれ口をやめて皆んなの仲間入りをして、誠かに批評でもしてもらひたいやうな氣がする

邦人文壇發展と覺悟

堀田照夫

ブラジル邦人文壇の不振とよく聞く話もあるが、これは一般作者の態度が實にあいまいなからである

文藝と四つに組んで行くと云ふ雄乎たる覺悟の出來た人間が少いからだ、淋しいから苦しいから、詩を作つた、小說を書いた、歌を詠んだ等其はまだよい。流行だから一つ俳句を作つてみやうなんて云ふ、浸藝なる考へから藝から文壇に這入つてきてゐる、人間の多い現在の看樣ではいつまでたつても邦人文壇の充實はのぞまれない、そこには飛躍もなければ發展もないたゞ流行を追ふ輩の多いばかりだ

男子一生の事業として文藝と四つに組む覺悟、この狂信的な信念がなくして、どうして現實の向上が望まれようぞ

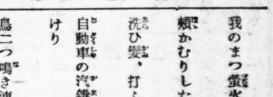
約束されやうぞである

文げいは男子一生の事業とするに足らずと笑ふ者には笑はして置くがよい、そんな線なき樂生には目もくれず信ずる文げいへの路にわき目も振らず急ぐ者が一人でも二人でも增加してきた時、眞にブラジル邦人文壇の金字塔は燦として南十字星の下に輝くであらう

一九三九・一・四

念腹選

俳句



峠の女性 (167)

山中峠太郎作 木原芳樹画

破調の道（十一）

考察

「また來るからね」

「ぜひね！ あんたどこにいらッしやるの？」

「なに、僕は、自分の家を持つてる譯ぢやないがね」

「では、お淋しなさいよ、あんた！」

「いや、急に用事を思ひ出したのでね、さうしてられないンだ。ところで、今先 となりへ男だが、あゝは、……」

「え？」

と、おキンは聲をひそめた

「あれは、細川の家の連てゐた手だらうね？」

「フラ、あんた、知つてるの？どうして？」

「ハゝゝ、聲だけ聞いたのだが、どうも、さうらしい氣がせた。

すると、おキンは俄に顔をかしげて、まじめな大げさな表情になつた。

「それが、わからないのよ。變にも！」

「フウム、君にさへ判らない？」

「さうなの。錦紗ずくめよ、どうしても、一流どこの奥さんて風だつたわ。初藏さん、とても彼いわねエ あんた」

「さうか、……」

そして、その儘二かいへ降りてきたのだつたが、ろ次の外にその自動車は既に姿を見せなかつた。

「一流どこの奥さん？」

と、勇彦は、その時のことを、今更考へずにはゐられなかつた。

「とすれば、あの細川の夫人でなくて、誠があの自動車に乘つてくるだらう？」

「お靜と精次が、今どうしてるか？」

これを知らうとして、彼は圖らずも、細川邸の秘密を聞くんだやうな氣がするのだつた

「さうだ！ あの香水の匂からしても、あの婦人は、細川の夫人でなければならない。それが運てん手と？「初藏さん」とおキンが言つてゐたんだ。彼は、すると、あすこの汁粉屋と、觀から驛染なんだな、少くとも品行の良い運てん手ではない、その初藏なる者と夫人とが、……？

と、鉛まで考へてきて、彼は眉をかめた。

……罪過だ！罪惡はどこにでもある。到る處隱れてゐる

……あの大きな細川の邸の中、あすこの家庭も亂れてゐるらしい見かけによらないものだ。が、その亂れてゐる家庭の中に、お靜がゐる、恐らく公園してゐるだらうが、……？すると、子供は？

と、さう思ひつゞけて、彼は自分の罪過そのものに、一人で責られた。

社告

今時左記の如く外交員を出張致させますから何卒諸賢の御高配を御願致します

セントラル線

中川 忠吉

聖西方面

吉川 政次郎

伯剌西爾時報社

歯科一般
診察時間隨意
歯科醫院
大久保

聖市イルマン・シンプリシアナ街五四番二階【中矢商店前】

本紙昨年十二月六日掲載のブラジル中央日本人ゴ軍用患者輸送飛行「ブラジル號」建設資金献金者氏名並金額第二回發表廣告中左記の分掲載洩れに付茲に掲載ゴヤス州ニ

◇一コントス也

ロポリス在住者

五〇〇〇ミルレイス 松岡 清次郎

二〇〇〇ミルレイス 岩本 一

同 武田 助二郎

同 花園 源

同 岩本 靈

同 森 巫善

同 西澤 寅雄

同 田邊 俊

同 本間 寅雄

同 沖 治

同 難邦 忠

同 難波 敏

同 難波 英

同 森 行雄

同 森 八郎

同 宮原 靜

同 宮谷 清

同 宮谷 喜三郎

同 平子 八

同 平子 三郎

同 宮部 イ

同 西田 久

同 西田 勝

同 濱野 光

タナアミ理髮店

は日本人理髮店中最古の店

最新の技術

聖市コンセレーロ・フルタード街五〇番千旅館筋向ひ

外科手術一般

X光線

胃腸、肝臓、腎臓、心臓、脚の諸病

診察に最新式設備あり

ドットル ラウロ

DR. LAURO

—LINS—

リンス市レイズガマ街六一一（三二）

日本人通譯因り診察の場合は御便宜を計ります

尋人廣告

左記者ノ現住ヲ承知致度ニ付本人又ハ關係ノ向ハ當館宛御一報相煩度

記

茨城縣筑波郡谷田部町 澤金 璃

愛媛縣伊達郡松前町 藤ツキ

鹿兒島縣 旭村 卯一

鹿兒島縣 旭村 到

布施 藤爽

廣島縣安佐郡矢野町 益金紀美子

同御調郡三原町 内海 祐一

都宮市 金鎖 中次郎

宮崎縣 西臺 伊藤義三郎（及家族）

靜岡縣田方郡 神田 逸雄

北海道旭川市 虎川 清

宮城縣名取郡岩沼町 武曦

福井縣大飯郡内浦村 小野 柴原 辨治

熊本縣大西郡本渡町 中山 平吉

同 鹿本郡田底村 右田 次一郎

同 上野 三郎

三重縣度會郡一之瀬村 船田 喜太郎

同 中田 種 伊助 三郎

昭和十四年一月十七日

在サンパウロ

帝國總領事館

時報商事日報

新案特許

皮ゾーリ

特許番號許

一七二一二

特長—テニス靴、タマンコ等と比較して履き易く丈夫で輕く終日の勞働用とし特に農家の婦人子供用としてお奬め申します

▲棉のバンニヤ

▲郊外野菜畠の手入に欠く可らざる皮ゾーリ

大人向 上等品 一足 六鈎

並 五鈎五百

婦人子供用 四鈎五百

時報商事部

各地時報支社

昭和拾四年度

徴集延期ニ關スル告示

昭和拾四年度徴集延期關係者ハ左記事項心得ノ上昭和拾四年壹月卅壹日迄ニ在帝國外徴集延期願又ハ在留申告書ヲ差出スベシ

尚本件ニ關スル屆出義務ヲ怠リタル擧合ハ徴兵令規定ニ依リ嚴重處罰セラルルニ付特ニ注意ス

記

一、在帝國外徴集延期願

大正七年拾貳月貳日ヨリ大正八年拾貳月壹日迄ニ生レタル者（即チ今回始メテ徴集延期ヲ願ハントスル者）ハ在帝國外徴集延期願ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スベシ（書式參照）

二、在留申告書

既ニ徴集延期ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ引續キ昭和拾四年度徴集延期ヲ願ハントスル者（明治卅四年拾貳月貳日ヨリ大正七年拾貳月壹日迄ノ間ニ生レタル者）ハ在留申告書ヲ壹月卅壹日迄ニ差出スヘシ（書式參照）但シ昭和拾參年拾貳月壹日ニ滿卅七年ヲ過クル者ハ在留申告書ヲ提出スル要ナシ

三、在留申告書及帝國外徴集延期願ノ「日附」ハ昭和拾參年拾貳月壹日以降ヲ爲スコト、開始ス

壹月壹日ヨリ

四、在留申告書及帝國外徴集延期願ハ直接管轄公館ヨリ本人ノ本籍地府縣廳宛四月拾五日迄ニ到着スル樣發送スルヲ要スル

ニ付必ス壹月卅壹日迄ニ提出スルコト

期日後ノ願出ハ之ヲ受理セス

五、願書ハ正副二通提出スルコト

副二通提出スル

壹月壹日ヨリ

手數料送付ノ要ナキモ願書到着ノ通知ヲ希望スル者ハ返信料同封ノコト

六、各管轄領事館宛提出スルコト

七、願書用紙ハ「プロツク大」ニテ必ス白紙ヲ可成地方青年會又ハ日本人會用紙ヲ統一シ願書ハ取纏提出スルコト

八、郵送ノ分ハ封筒面ニ「徴兵關係」ト記入スルコト

九、在留申告書及在帝國外徴兵延期願ノ樣式左ノ如シ

在留申告書

一、本人 氏名

（生年月日）

二、本籍地 府市町村大字 番地

三、現在留地 伯國州線驛郵函 植民地

四、初メテ徴集ヲ延期ヲ願ハントスル年月日

右及申告候也

昭和 年 月 日

在留 氏名 ㊞

注意

イ、末尾ニ領事名ヲ記載セサルコト

ロ、證明餘白ヲ殘シ置クコト

ハ、拇印ヲ忘レサルコト

在帝國外徴集延期願

一、本人 氏名

（生年月日）

二、本籍地 府市町村大字 番地

三、在留地 伯國州線驛郵函 植民地

四、帝國內出發年月日 港出發年月日

右之通帝國外ノ地ニ在留中付兵役法第四十二條ニヨリ徴集延期相成度候也

昭和 年 月 日

右 氏名 ㊞

聯隊區 徴兵官 殿

注意

イ、領事名ハ記載セサルコト

ロ、證明餘白ヲ殘シ置クコト

在サンパウロ帝國總領事館 サンパウロ市 郵函一一六七

在リベロン・プレート分館 同一四四リベロン・プレート驛

在サントス帝國領事館 同六六サントス市

在バウルー帝國領事館 同▲バウルー驛

在リオ・デ・ジヤネイロ帝國領事館 郵函三一リオ・デ・ジヤネイロ市

在ベレーン帝國領事館 郵函四二八ベレーン市パラー州